

平成24年4月12日

千葉木鶏クラブ
(325回 例会)

『新現代に生きる論語』

春曙、桜の花咲きほこる清明の季節に気持ちも新たに嬉しくなる。

表題の『新現代に生きる論語』は東洋思想、取り分け人間学が凝縮されているすばらしい本です。

第一部は、「論語六十想」と題して、論語五一二章の中から六十章を選び、学術的に、また現代の世情に即して解説され、第二部が、「従心に想う」と題して、著者の日ごろの想うこと、考えることを、東洋思想の観点から随筆風に記されております。

今回、著者である広瀬先生から第二部の「従心に想う」から抜粋し山岡荘八の「徳川家康」を中心にお話していただきます。

皆様のお越しをお待ちしております。

1. 日時：平成24年4月21日（土） 13時30分～16時
2. 場所：北辰文化倶楽部 電話0474-25-0220
＜交通案内＞ JR東船橋 徒歩5分
3. 会費：1000円
4. 演題：新現代に生きる論語
5. 講師：広瀬幸吉 先生 北辰文化倶楽部理事長

＜プロフィール＞

昭和15年 習志野市

早稲田大学 大学院終了 学校法人北辰学園理事長 北辰文化倶楽部理事長

＜主な著書＞

『現代に生きる論語』『人間関係を良くする気づかい術』他多数

6. 講演要旨

山岡荘八の名著『徳川家康』は、「歴史小説を超えて、政治の本であり、経済の本、また哲学の本、日本文化の本である」と言われ、当時の佐藤栄作総理大臣が絶賛され推薦しています。特に、今川義元の人質だった時の雪斎和尚から高度な文武を学ぶ。

主に、それは主に、孔子、孟子の四書五経、孫子の兵法、六韜三略、韓非子、老子や荘子に代表される中国哲学、東洋思想でした。

問い合わせ：丸島忠夫 marushima_t@plala.or.jp 電話：0475-25-1211